

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商業施設等誘致事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅周辺ほか	意図	市民の利便性の向上、消費意欲の向上につながる商業施設が開業する。
事業内容	沿線開発地域にふさわしい商業施設の立地を誘導します。			
事業開始から現在までの状況変化	区画整理事業等の開発進捗による周辺住民の増加にともない、商業施設等の進出が進んでいる。新市街地地区のほとんどの街区では使用収益が開始されており、土地活用が決まっていない区画が減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	商業施設の新規立地件数	2	3	0	件	↑↑↑
②	誘致活動件数	14	7	3	件	↑↑↑	業務取得
③	TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	34,702	36,491	38,183	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
④	東武流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	27,619	28,455	29,458	人	↑↑↑	東武鉄道ホームページから数値取得
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>流山おおたかの森駅周辺住民の生活機能の向上</li> <li>流山おおたかの森駅周辺の賑わいの創出と交流人口の増加</li> </ul>			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> <li>流山おおたかの森駅及び南流山周辺地区では、産科と小児科のクリニックの非常に混雑しており、新たなクリニックの開業が求められている。</li> <li>新市街地地区C63街区の市有地の整備が進み、その後背地において飲食業向けの商業ビルの建設が進んでいる。</li> </ul>			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,059,500	2,013,600	1,977,600				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与と費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	金融機関と連携し、進出を検討している商業施設事業者等に対して常に適切な情報提供に努める。	③取組における課題(Check)	誘致活動における協力パートナーが千葉銀行しかいない。
②H30に実施した取組(Do)	千葉銀行地域情報グループと地権者の土地活用の意向と出店希望の事業者等の両社に係る情報を共有し、マッチングに向けて協力した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	他の金融機関や地元の不動産店等との協力関係を構築する。